

## 人権啓発活動の報告

### ●いわき市人権啓発DAY

日時：令和7年5月25日（日）10：00～14：30

場所：ハワイアンズスタジアムいわき

J2リーグ いわきFCvsベガルタ仙台



スポーツの観点から外国人への偏見や差別をなくし、違いを認め合って理解・尊重するとともに、お互いの人権に配慮した行動ができる共生社会の実現に向け、啓発活動を行いました。スタジアム外の特設人権啓発ブースでは、人権や多文化共生に関するアンケートに協力いただくとともに、ハーフタイム時には、市長のあいさつの後、法務局いわき支局、いわき人権擁護委員協議会、いわきFC選手、市職員によるバナーウォークを行いました。

なお、アンケート回答者からは「誰かのことではなく自分事として考えたい」、「外国人との共生についてもっと理解を深めたい」などの声が寄せられました。



### ●「人権の花」運動

「人権の花」運動は、児童が協力しながら花を育てることを通して、情操を豊かにし、思いやりの心を育むことを目的に行っています。

令和7年度は、市内の小学校5校に花の苗等を配付し、各学校の児童がマリーゴールドの花を大切に育てました。



5月29日、赤井小学校で贈呈式と花植えを行いました。



特定非営利活動法人「はなのころ」は、令和7年度人権啓発地方委託事業（委託者：福島県）を受託し、令和7年10月4日に人権ユニバーサルデザイン推進事業として「みんなでつくるつながるアートひろば」を実施しました。

はなのころ所属のアーティストの作品は、本号の表紙に掲載しています。

❶「スタンドグラスの花瓶と琉球ビードロガラス」・

作家：玄太

❷古代文字の写経「除一切疾病陀羅尼經」・作家：一匡

❸切り絵「精天使-DIVA」・作家：千鶴

❹「メイクアップ シーラカンス！」・作家：ゆずあ





## いわきダイバーシティ\*・トーク

いわき市在住20年以上になる  
ニュージーランド出身の  
中田 サラ ジェーンさんにお話を伺いました

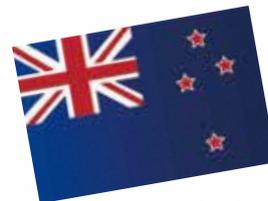


### ★日本に来たのはいつですか?来日のきっかけは?

私は、テ・アナウという自然豊かな町で育ちました。近くに国立公園があり、当時は、多くの日本人がトレッキングや観光で訪れていました。13歳の頃、学校で日本語の授業があり、それが私にとって大きな転機となりました。その後も日本語を学んでいく中で、実際に日本語を使う環境に身を置いてみたいと思うようになり、2002年に英会話教室の講師として来日しました。そこからいわきで暮らしていますが、夫の転職の関係で、ドイツに3年間、スウェーデンに1年間生活した時期もあります。

### ★ニュージーランドはどんな国ですか?

ニュージーランドは新しい国です。8～9世紀頃からポリネシアからマオリ族の人々が移り住み始めましたが、私のような白人が住むようになってからはまだ200年くらいですから、同じ島国でありながら、歴史的には、古い歴史を持つ日本とはかなり違います。また、いろいろな国からの移民で社会が形成されているので、ルーツは本当に多種多様です。そのため、お互いを受け入れ尊重する風土があり、新しい国だからこそ、新しいことをするのにあまり抵抗がない風潮があるかもしれません。そして、のんびりとシンプルなライフスタイルを好む国民性です。



### ★ニュージーランドの男女共同参画は日本と比べてどうですか?

ニュージーランドは世界で最初に女性参政権が認められた国です。政治においても、女性の国会議員の割合は約半数で、これまでに3人の女性首相が誕生しています。特に、37歳の若さで2017年に首相に就任したジャシンダ・アーダーンさんは、首相就任中に産休を取得したことで大きな話題になりました。

生活面では、ほとんどの家庭が共働きです。男性は家事育児に積極的に関わりますが、それでも女性の負担が大きいのは日本と同じかもしれません。1年ほど滞在したスウェーデンでは、男性の家事育児への参加がすごく進んでいて、とても驚きました。

日本は、特に若い世代では、家事育児に協力的な男性が増えてきたように感じますが、男性が女性と同じ目線で家事をやるというところまでは、あまり進んでいませんよね。外国人の私から見ると、日本人女性の家事のレベルは本当に高いです。だから、男性がなかなか家のことに手を出せないという一面も、もしかしたらあるかもしれません。もう少しゆるい感じで家事育児のハードルが低くなったら、自分にもできそうだと思う男性がさらに増えるかもしれませんね。

それから、男性女性にかかわらず、もっと柔軟な働き方ができたら、共働きがもっと上手くいくと思います。社会全体で、もっとフレキシブルな働き方ができるように工夫できれば理想ですね。

### ★読んでくださった方に向けて、一言お願いします。

日本で当たり前になっている制度や文化は、外から見ると当たり前ではなく、素晴らしいものです。私がいわきで生活してきた中でも、例えば、学童保育や学校給食のシステム、幼稚園や学校の先生のきめ細やかな指導、医療機関での献身的な対応、地域での見守り、人と人との深いつながりなどが挙げられます。日本には、こんなに素晴らしい基礎があるんだということを、改めて皆さんに知ってほしいなと思っています。そして、いわきの良さも再発見してほしいです!



\* ダイバーシティ (Diversity) とは、多様性のことで、性別や年齢、国籍、障がい、性的指向などにかかわらず、互いの違いを認め合い、尊重しながら共存している状態のこと。